

長崎の宝物を世界と未来につなぐプロジェクト

世界遺産の文化財建造物の 保存修理や世界遺産の PRに関する取組を進めています

平成29年度は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つ、大浦天主堂(長崎市)の美装化・防災施設整備工事に係る費用(約7千万円)の一部に、皆様からの寄附を活用しました。漆喰が脱落していた外壁の塗替や屋根の修理のほか、防犯設備強化のための赤外線センサー・防犯カメラ等を設置。工事は昨年11月から着工し、今年8月に完成する予定です。このほか、東京で開催された旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」で、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のPRを実施したほか、ポスター・チラシ等の制作を行いました。世界に誇る長崎の宝物を、積極的にPRすることにより、より多くの人を誘客し、地域の活性化につなげていきます。



※美装化・防災施設整備工事中の大浦天主堂(長崎市)
工期は平成29年11月～平成30年8月を予定



※ツーリズムEXPOジャパンでのPRの様子
(平成29年9月21～24日東京ビッグサイトにて)

地域の将来を担い支える若者の人材育成プロジェクト

将来の地域産業を担うリーダーとなる 人材の確保・定着を進めるため、 若者の奨学金の返済を支援しています

大学で学んだ専門知識を活かし、卒業後に製造業、建設業、観光関連産業、保険業・金融業等の県内企業に、一定期間就業した若者に対して、産業界や民間のご協力をいただきながら、大学生時代に借りた奨学金の返済を支援しています。これまで、支援を希望する学生110名を支援候補者として認定しました。認定された支援候補者に対しては、県内企業の魅力や求人情報をお伝えし、就職に結びつくよう支援していきます。この事業により、将来の地域産業を担う優秀な若者の県内定着を促進し、県内企業の人材確保、企業活動の活性化へ繋げていきます。



※学生と企業との交流会の様子

県立大学は、産業界が求める 人材育成や県内の高校生に選ばれる 大学を目指した取組を進めています

平成28年4月、「主体的に考え、課題の発見力など社会人としての基礎力、社会のグローバル化や情報化に対応する能力を持つ人材」の育成を目指し、3学部7学科から5学部9学科への学部学科再編を行いました。平成29年度は、県内企業での長期インターンシップや企業の経営者による講義を実施し、学生が地場企業の実務等に触れることができました。その他、語学力向上のための授業や地域における経営実践、「しま」でのフィールドワーク等、企業・社会から求められる実践力と地域社会に対する責任感を育むための実学を重視した人材育成を進めています。また、県立大学佐世保校では、築後約50年が経過し老朽化した校舎の建替えに着手しています。学生の能動的学習を促すラーニングcommonsや外国語だけでコミュニケーションをとるグローバルエリア等を設置することとしており、平成29年度は、設計業務を実施しました。平成30年度にかけて引き続き設計業務を行い、建設工事に進んでいく予定としております。



※佐世保校キャンパス整備イメージ

日本の最西端ながさが目指す国際展開プロジェクト

水産物の輸出拡大に向け、本県産 水産物のフェアや販促PRを行いました

中国や香港、韓国などの東アジアを中心に、米国や東南アジア等に対して、本県産の活鮮魚や加工品等の輸出を行っており、平成28年度の輸出金額は約19億円となっています。今年度は、更なる輸出拡大に向けて、現地での展示商談会や料理店でのフェア、アンテナショップ等を活用した販売促進PR活動、現地のニーズに合う商品づくりを行うための市場調査、安定供給のための出荷体制づくりを通じて、中国や米国といった既存の輸出先国への販路拡大と併せて、シンガポールといった東南アジアなど新規市場の開拓に取組みました。今後も本県産水産物のPRや販路開拓の取組を積極的に行い、輸出拡大を進めていきます。



※中国国際漁業博覧会(青島)

海外の百貨店等において 県産品をPR

平成29年度は、前年に引き続き、中国・上海市の上海高島屋百貨店において、長崎物産フェアを開催しました。地下1階食品売場において、島原手延そうめんなどの麺類や県産酒、調味料、お菓子、胡麻豆腐、波佐見焼等の県産品の特設販売や、常設の長崎鮮魚の販売コーナーの装飾によるPRを行うとともに、本県の歴史・文化・観光の魅力を発信しました。このほか、中国・福州市の日本料理店における県産品の食材フェアや、韓国、香港、台湾、ベトナム等においても県産品のPRを実施しました。



※上海高島屋地下1階長崎物産フェア会場